

建築年度	2014
作品名	法政大学小金井キャンパス西館
建築形態	33スラブコア、ネオバジ、5ピ、 <b>コア(73)</b> 、ガラス外壁、貫通コーラスラム



コメント 「外観」との観点である世界観に共通する点の建築は、各地の「内観」と「外観」を明確に区別し、建物の  
 群する際に「区別感」のような印象を惹き起こすことを目指す。また、アトリウムに多く見られるような  
 建物の規模を知らざるスペースにとどまらず、プロトタイプ的な形を併せてコアを適用する点もまた、  
 形を影射空間に活用しているファイファイアイトが建築の空間を可視とし、空間を結びつけている。



be connected with other place